



和光大学附属梅根記念図書・情報館 正面入口



LRP ルーム

LRP

Let's Read Project
2012

レポート



Contents

- 2はじめに
- 3厳選 pop
- 4LRP 2012 年度活動報告
- 5新入生歓迎本棚
- 6Counter 第8号・十本十色
- 7-8国立国会図書館見学 2012
- 9Time Travel with Book・Counter 第9号
- 10コミックアゴラ・ウルトラブック
- 11第6回 選書ツアー
- 12-14LRP レポート版 Pick up book
- 15-16Build My Life Book
- 17ビブリオバトル報告
- 18-24LRP プロフィール
- 25-262012年度を振り返って



はじめに

2012 年辰年。

本年度は Let's Read Project (以下 LRP) にとって大きな節目となる年であったと言えるだろう。

2008 年に「Let's Read (本を読もう!)」という活動目標のもと始まった LRP は活動 5 年目に入り、発足当時のメンバーが卒業、私も含む多くの新メンバーの加入を経て新たなスタートを切ることとなった。

7 月に行われた企画本棚「十本十色」や、図書館内で配布されるフリーペーパー「Counter」が第 9 号から「LRP 絵本箱」、「とある図書館の軽文目録」、「司書さんと呼ばれる日」という 3 つのコーナーを新規に設けることにより新しく生まれ変わったことは、その結果の一つである。

また、本年度の大きな出来事としてこうした新しい活動に加え、LRP に対する内外の認知度も大きく上がったことも取り上げるべきであろう。

多くの学生が去年から図書・情報館 2 階に場所を移した LRP ルームに足を運び、新規メンバーとなって現在も LRP として日々活動している。

この他、外部からも他大学や高校の先生、司書の方などがルームやミーティングを見学に訪れ、LRP の活動に関心を寄せてくれている。

LRP は一つの節目に入り再スタートを始めたが、「本を読もう!」という発足当初の活動目標は今も変わらず、今後とも皆様に本との「出会い」の場や機会を提供していきたいと考えている。

この世のすべてのヒトに本との出会いという幸福が訪れることを祈って。

総合文化学科 3 年 薔薇龍



厳選! POP

本棚を企画するたびにメンバーが作成しているPOP。
今回は編集者の独断と偏見のもと、個性のあるものの中から特にすばらしいPOPたちを並べました!

「山月記」



もはや、一つの作品です。



「大人のマナー大全」

来たるべき日のために。

「銀河鉄道の夜」



夢と希望を乗せて…

「おまえうまそうだな」



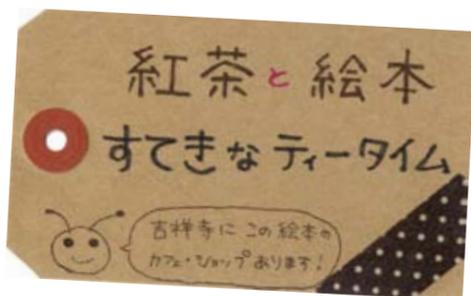
かわいいは正義!

「人生がときめく片づけの魔法」



俺のことか!?

「カレルチャペックの 紅茶店のレシピ」



理想の体験
(読書家にとって)

[Creative card design]



想いをこめて…

「モダンタイムス」



タブレット時代を「予言したと」…

「あきまつくち」



フワフワのモコモコ

LRP 2012年度 活動報告

- 5/9 (水) 「新入生歓迎本棚 2012」 公開
- 5/25 (金) Counter 第8号発行
- 7/4 (水) 「十本十色」本棚公開
- 8/8 (水)・8/10 (金) 国立国会図書館見学ツアー 2012
- 10/31 (水) 「Time Travel with Book」本棚公開
- 11/15 (木) Counter 第9号発行
- 11/21 (水) コミック・アゴラ 2012 開催
- 1/11 (金) 「ウルトラブック」本棚公開
- 2/15 (金) 第6回選書ツアー開催

5
20

毎年恒例 「新入生歓迎本棚 2012」公開

毎年恒例の新入生企画本棚。昨年度のメンバーが選んだ本が所狭しと並んでいます。もちろんポスター・ポップはメンバー手作りの力作揃い。1年の幕開けに相応しい本棚です。来たれ、2012年度新メンバー！



5
25

フリーペーパー

Counter 第8号 発行

第8号から
オススメの
記事を抜粋

徒然雑記

『おすすめの講義』

毎年悩む人が大勢いますが、基本、講義要目や手引きをしっかりと読んでうえて、オリエンテーションに参加して「これいい！」と思うものがあれば間違いはないでしょう。
面白いものは自分の足で見つけるのが一番です。字数の都合で講義名と先生の名前だけですが、私のおすすめのものを挙げさせていただきます。
「男性学」(田中俊之先生)、「ダイビング」(矢田秀昭先生)、「アジアの身体」(大橋さつき先生・花柳和先生)、「海外投資論」(加藤巖先生)、「現代文化批評」(上野俊哉先生)、「火の人間史」(関根秀樹先生)、「アジアの芸能」(村山和之先生)、「現代社会と階層分化」(米田幸弘先生)
(心理教育学科3年猫子)

美術館巡り

#7: 河口湖木ノ花美術館

絵本作家・池田あきこが創り出した不思議な世界「わちふいーど」の美術館。アルス(地球)から離れたそこは動物たちと植物や精霊などが共存している空間…。絵本の原画展や模型展、美術館限定グッズなども手に入る。併設レストランカフェ「オルソンさんのいちご」もおすすめスポット！ アクセス：富士急行線河口湖駅からレトロバス10分、河口湖木ノ花美術館前・猿まわし劇場前下車。中央道河口湖ICより車で10分。

開館時間：9：00～17：00(季節によって異なる) 入館料：一般・大学生500円(割引制度あり)

7
4

「十本十色」本棚公開

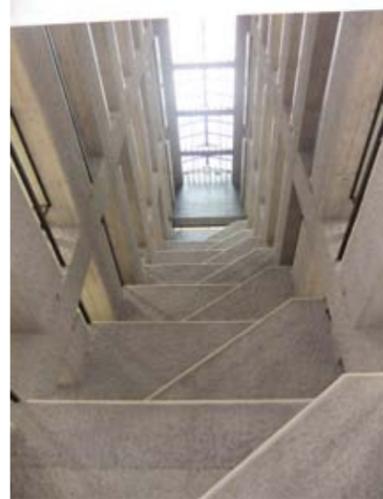
2012年度2つ目の企画本棚は「色」をテーマに選書をしました。このテーマにした理由は、本を手取るきっかけの1つとして本の装幀に惹かれることもあるからです。装幀という範囲が広いので、表紙が指定された色を基調にしていることが選書の条件でした。メンバーで話し合い12色に限定し、4週に渡って本棚替えをしました。1～3週目までは4色ずつ本を出し、4週目のラストは12色総て並べました。読んで楽しい、遠くから見ても楽しい本棚でした！





国立国会図書館見学ツアー 2012

毎年夏休みには、LRPは見学ツアーを行っています。2012年度はLRPとしては2回目の国立国会図書館。普段は覗くことのできない国会図書館の裏側を見ることができた貴重な一日でした。何より驚いたのはその蔵書の量。「図書館だから当たり前でしょ。」と思われるかもしれませんが。でも実際に見てみると本当に驚きます。あなたが手に取っているこのLRPレポートも国会図書館には納本・所蔵されているんですよ！



メンバーの感想

国会図書館の裏の部分まで見ることができてとても貴重な機会となりました。何よりも地下の漫画雑誌、幼い頃に戻った様な気持ちでした。最後にはカードまで作ってしまっ。そろそろ卒論も準備！という時期なので積極的に利用していきたいと思いました。(おっぼ)

館内の利用者スペースでは「人肉裁判」と訳されたシェイクスピアの「ヴェニスの商人」のカード目録など図書館の歴史を感じさせるモノも多く見られたが、どちらかと言うと利用者用の端末の方が多く目立ち、図書館というよりは別の施設のような印象を受けた。

地下の書庫スペースは棚に所狭しと並んだ図書類や古い図書の独特の匂いなど「まさに図書館」と思わせる要素が多くあり、また職員の説明からは雑誌や新聞の保存技術の高さや保存に対する姿勢を感じることができた。(薔薇龍)

国立国会図書館を訪れて、蔵書数の多さが印象的でした。また、地下の閉架書庫に行きましたが、そこでも雑誌や漫画がズラリと並んでおり、子供時代に読んでいた懐かしの漫画雑誌なども見られました。(義経)

雰囲気やシステム全てが新鮮でした。普段は入れない書庫の見学も出来て興味深かったです。○アマミ音のする本専用のエレベーターに、本と一緒に運ばれたと思いました。(冬夜)

エレベーターで案内されたのは、新棟の地下8階の書庫。地上階までの吹き抜けを見上げた時は地下にいるはずなのに不思議な解放感があったとても快適だった。一瞬「本になりたい」と思ったほどだ。閉架式であることから、おごそかでひっそりしている場所かと思っていたが、大勢の人が行き交い、端末に向かい、必要な資料を手に閲覧に向かっていく様子は、思っていたよりずっと開放的な雰囲気だったのでとても驚いた。日本中から集まる資料はすべて「国の財産」という考え方のもとで管理されている。後世まで保存する使命感や、利用しやすい環境づくりに情熱を傾ける人がいることを実感できた、有意義な時間だった。(猫子)

図書館が好きだと、本が好きだと言っておきながら、国立国会図書館に足を運んだことはありませんでした。初めて行って、思ったよりも国の匂いがしました。利用者スペースに本棚はなく、電子媒体ばかりで近未来図書館のような印象です。今回は見学ツアーなので、普段利用者が立ち入ることのできない蔵書スペースを見せていただき、本の香りに溢れていたのが、ようやく図書館なのだ実感できました。漫画雑誌も収蔵していて、今も出版され続けているものから、廃刊になったものまであり、国会図書館！と感じました。(夕陽)

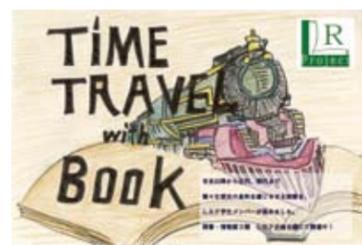
初めて国会図書館というものを実際に見て感じたことは非常に貴重な経験だった。この図書館は国の発展のための「知の集積」というだけではなく、人々の想いの詰まった場所だとも感じた。(W.A)

思ったより小さな建物。というのが第一印象でした。去年見学に行った国際子ども図書館とこの建物の二館だけで、日本中の本が保管できるとは到底思えない…。と、思っていたら、関西館もあるらしいです。関西か…。LRPの活動で行くのは、厳しいだろうなあ。(致遠)

10
31

「Time Travel with Book」 本棚公開

2010年度から続く伝統の？本棚である「TRAVEL WITH BOOK」。3年目となる今年は、とうとう空間だけではなく時間も越えました！今回のテーマは「歴史」です。各メンバーにはそれぞれ興味のある時代についての本を選書してもらいました。学祭直前というぎりぎりのスケジュールでしたが、「吐蕃王国」から「20世紀モード史」まで、幅広いジャンルの本が集まりました。



11
21

「コミック・アゴラ 2012」 開催

今年もやりました！ コミックアゴラ！
今年のテーマは「僕らのチェンジザワールドコミックス」という大それたことを掲げていますが、要は影響を受けた漫画ということでもいいかと…。漫画に関しては色々と集まりましたね～。最近の漫画だと「銀の匙」「ジョジョリオン」など。あと同時企画に漫画オンリーで「ピプリオバトル」もやりましたよ。大成功に終わりました！



11
15

フリーペーパー 「Counter」 第9号 発行

昨年度、卒業した先輩が担当していたコラムがあり、そのスペースが空いてしまうため、いっそのこと Counter 全面リニューアルしてしまおう！ということで、ちょっとだけ変わりました。新しくできたコーナーは、絵本紹介、ライトノベル紹介、司書さんインタビューコーナーです！この中で特に力を入れているのは、司書さんインタビューです。日頃、図書館で忙しくしている司書さんの貴重なお話を聞くことができますよ。

A Forest Picture-Book 森の絵本

作・長田弘／絵・荒井良二
訳・ピーター・ミルワード 講談社

真緑の表紙に目が留まり、ページをめくるとに広がる色の変化が楽しい絵本。姿の見えない声に導かれながら森を出て川辺や花畑や街中に出てみると、「たいせつなもの」「わすれてはいけないもの」に気づかされていく。日本語本文・英語翻訳どちらも掲載、英語を敬遠している日本人学生さん、日本語を学習している外国人留学生さん、気軽に読んで勉強してみたいかがでしょうか？（総合文化学科3年 はなか）

第9号から
オススメの
記事を抜粋



和菓子のほん

中山圭子・文／阿部真由美・絵 福音館書店

春は桜のピンクに菜の花の黄、夏は流水の涼しげな青や水色、秋は紅葉の橙にキノコの茶、冬は雪の白や寒梅の赤などなど、四季折々の季節を彩る色あざやかな和菓子たちがページいっぱい広がる一冊。お茶会の上級菓子や普段親しまれているおやつまで、材料や作り方やデザインのモチーフ、300年前の和菓子の絵図帳なんていうのも登場！あんこが苦手な和菓子が嫌いな人、とりあえず読んでみて下さい♪（はなか）

1
11

「ウルトラブック」 本棚公開

今年度最後の企画本棚は、ヴィジュアル重視の、その名も「ウルトラブック」！絵本や写真集、果ては図鑑まで見て楽しめる本を集めました。大学図書館らしくない？…いえいえ、これが「和光」らしさなのです。





来年度入学する新入生のための選書ツアーを、学生メンバー15名、スタッフ4名の参加で実施しました。場所は紀伊国屋書店新宿本店。今回は、学生メンバーは選ぶ本の分野に分かれて、心理・教育・経済・社会・芸術・文学など、幅広い内容の本を選びました。店内での選書後は、紀伊国屋書店の会議室をお借りして、LRPおなじみの「プレゼン」の時間。選んできた本を、メンバーの前で発表。選んだ本のおすすめポイントを紹介し、他のメンバーの選んだ本の紹介も聞ける！選書ツアーならではの醍醐味です。



メンバーの感想

初めての選書ツアー。どうなるかとドキドキしたが、上手くプレゼンが伝わったようで良かった。(薔薇龍)

選んだ本が少なかったのですが、その分プレゼンに力を入れられたと思います。一度に様々なオススメの本を知れるのは良いですね。(冬夜)

店頭で良い本があったので、楽しい選書が出来ました。(義経)

今回は分野別ということで、選書は前回以上に大変でしたが、やりがいがあったと思います。(おじいちゃん)

初めて参加して色々な本を探ることができて楽しかったです。1時間じゃあたりないくらい夢中になりました。(わざび)

分野別であっても個性あふれる選書とプレゼンを楽しめました。以前から目に付いていた本があらかた所蔵されていて、大学図書館のサーチ力を見直すきっかけにもなりました。(ししとう@)

もっとプレゼンに時間がかかるかと思っていましたが、予想以上に早く終わって驚きました。1冊1冊濃密なプレゼンで、皆のヒートアップしていく様子がおもしろかったです。普段は選ばない本を選んでくるので、「お、そこにきたか」と新しい発見がかなりありました。もう1時間、選書の時間があれば、と思いましたが、もっと「私コレ選んだよー！」と話す時間がほしかったです。しっかり勉強してきた人もいて、自分も頑張らねば。と思いました。(猫子)



Pick Up Book

「Counter」でおなじみ、メンバーお気に入りの本を紹介する Pick up book。番外編として登場です！

『キャット・アート』 シュー・ヤマモト/求龍堂/287p

〈この本はウィスカー・キティフィールド氏(猫)が古代の石版画から中世のモザイク画、ルネサンス、近代の印象派、そして現代アートの名画、名作を解説する本である。白眉なのは印象派の画家であるピエール＝オーギュスト＝ネコアールの『ニャレーンの肖像』であろう。幼いながらもその美猫さ何とも言えない。日本の画家の竹久猫二の作品もこの本に載っている。〉とまあつらつらと書いてきたがこの本は数々の作品の中の人間を猫にしたらどうなるかという所謂パロディ本だ。ネコアールは、ルノアール。竹久猫二は、竹久夢二といった感じだ。もちろん巻末では元の絵のデータも記載されている。肩肘を張らずにリラックスした気持ちで名画を楽しめる一冊である。

(総合文化学科1年 グリスリー)

『女子の生きざま』 リリー・フランキー/新潮OH!文庫/183p

リリー・フランキーの描く偏見だらけの女子学本。今話題の女子力というものがありますが、それが流行るもっと前に女子の女子らしさについて論じてあります。しかし…これに関してはあることないこと書いてありますね〜。リリー氏のエッセイは過剰に書いてあることが多く嘘かホントかわかりません。これは爆笑エッセイとして楽しく読むものなのであまり本気にせず、軽い気持ちで女子も男子も読んでください。

(総合文化学科3年 原稿中)



『銃とチョコレート』 乙一/講談社/376p

前から読んでみたかった本です。主人公少年リンツくんが、みんなのヒーロー探偵ロイズに出会い、怪盗ゴディバを追い、嘘あろロイズって…えっ怪盗ゴディバは…なお話です。児童向けなのでごく読みやすく挿絵もあります。私はダークな乙一さんもホワイトな乙一さんも好きですが、銃とチョコレートでは、ダークです。にじみ出てます。面白いのでぜひ読んでみてください！

(総合文化学科1年 うま)

『龍のすむ家』 クリス・ダレーシー 三辺律子訳/竹書房/338p

「下宿人募集。ただし、子どもとネコと“龍”が好きの方」そう書かれたはり紙に導かれ、大学生デビューが向かった先で待っていたモノはリス好きの女の子、ある登山家の名前をいただいたネコ、そして陶器で作られた不思議な雰囲気を持った龍の置物たちとの奇妙な下宿生活だった。「子どもとネコと“龍”が好きの方」はもちろん、創作活動が好きの方、リスが好きの方、不思議な話が好きの方など多くの方が楽しめる作品になっています。

(総合文化学科3年 薔薇龍)

『ロスト・シンボル』 ダン・ブラウン 越前敏弥訳/角川書店/707p(上下巻合わせて)

『天使と悪魔』、『ダ・ヴィンチコード』に続くラングドン・シリーズ第三弾のミステリー小説です。きっと映画などで前作をご存じの方も多と思うのですが、実際に出てくる組織や芸術、科学、建築物はすべて実在しており、今回舞台となるのがアメリカ、ワシントンDCの1\$紙幣でおなじみのフリーメーソンについて書かれています。このシリーズの主人公ラングドンは宗教象徴学を専門にしているのですが、宗教から歴史をみていざ次々起きる謎や暗号を解き明かしていきます。実在するものが主題となっているのでリアリティーが出て、ラングドンの友人を助けたい気持ちや自分の専門に対する誇りが伝わってきます。また映画を観ているような迫力やスリルが味わえテンポが良く読みやすくなっています。特に中盤からラストにかけてラングドンに訪れる危機にハラハラさせてくれます。ミステリー&歴史などに興味ある方は是非読んでみてください。(芸術学科1年 わざび)

『図書館戦争』 有川浩／アスキーメディアワークス／メインシリーズ全四巻、約1600p

行き過ぎた法律による図書隊とメディア良化法を行使しようとする国との終わりのない闘争。死人が出ないとはいえ銃器を持つての闘争はもはや内乱と同じ。主人公、笠原郁は夢見る乙女な心を持った図書隊隊員。その夢の成就を願いながらメディア良化法そのものへ立ち向かっていく。毎度ハラハラドキドキの展開を盛り込んだ本です。ちょっと専門用語が多めで読みづらいと思いますがオススメです！ぜひ読んでみてください。

(経済学科1年 夢人)



『恋する男たち』 篠田節子、小池真理子、松尾由美、湯本香樹実、小池真理子、森まゆみ／新潮文庫／274p

篠田節子を始めとする、6人の作家による6つの短編小説が読める作品だ。全体像としては、物語は男目線で進み、また学生時代のビュアで読んでいた方が恥ずかしくなってしまうものではない。恋愛小説と言えば、女性目線での物語が多いため、いつもとは少し違う恋愛小説を楽しみたい方にはぜひオススメしたい。

(芸術学科3年 夕陽)

『ルバイヤート』 オマル・ハイヤーム著 小川亮作訳／岩波文庫／173p

ペルシア最大の詩人にして、科学者、哲学者でもあるオマル・ハイヤームの詩は、その内容が反イスラーム的であるとして、非難、時には賛美されてきた。しかし彼の詩の中に、クルアーンを深く学びながらもついにムスリムとなる事が出来なかった苦しみを感ずるのは、私だけであろうか。全知全能のアッラーに対し、心の中で罵ろうが公衆の面前で罵ろうが同じことではないか。正直な男である。

(総合文化学科2年 致遠)

『絶望センチメンタル』 朽葉屋周太郎／アスキー・メディアワークス／209p

「しょうぜ復讐」

小学5年生の少年と女子高生の妙な組み合わせが、短いけれど奇妙な旅をする。少年はやるべきことを自分自身で決めていて、それを面白がる女子高生がそれを手助けしながら物語は進む。彼らが苦戦しながらもこなしていく「やるべきこと」の先に一体何を求めるのか。読んでみる価値はある。

(総合文化学科2年 ダニエル)



『フィンガーボウルの話のつづき』 吉田篤弘／新潮社／220p

「世界の果てにある食堂の物語」を書きあぐねていた作家の「私」はある出来事をきっかけにピートルズの「ホワイトアルバム」について人々の思い出をたどっていく。ピートルズ好きはもちろん、そうでない方もこの作品を読むことで「ホワイトアルバム」を開きたくなること間違いなしな作品。個人的には「小さなFB」がおすすめ。クラフトエヴィング商會・吉田篤弘の物語作家としての原点です。とにかくあったかい！

(総合文化学科3年 おっぼ)

『新学期』 長野まゆみ／河出文庫／179p

新学期といえば春というイメージが強いかもしれないが、主人公・史生は夏休み後の新学期に転校をした。何故か中途半端な時期に、17歳も年の離れた兄と一緒に暮らすことになったためだ。何かと兄に反抗的になってしまう史生は、兄のことを慕う2人の少年と出会う。親しいからこそ素直になれないもどかしさや、伝えられない言葉、言わなくても伝わる気持ちがある。主人公と兄の関係にも注目。色々な意味で。

(芸術学科2年 冬夜)

『青春の逆説』 織田作之助／角川文庫／294p

美人を連れて散歩して、奨学金で三高へ入学した豹一は、生来のひねくれものだった。女性と一緒にいる時間は苦痛で、ガリ勉も奨学金という施しも馬鹿にしているのに、箔を付けたいがために望まぬ方向へ突き進む豹一。清々しさはないけれどこの作品も、反対側から描く青春の姿。

(総合文化学科4年 御膳)

『嘘つきアーニヤの真っ赤な真実』 米原万里／角川文庫／301p

小学生にして「いい男は歯で見分けなさい」と豪語するギリシャ人のリッツア、思い込みは激しいが人情に篤いアーニヤ、秀才で謎めいた雰囲気をもつヤスミンカ…個性的な先生と同級生に囲まれたマリは、大人になってから彼ら、および東欧の地域がたどった激動の歴史を知っていく。切なさを感じるとともに、「外国で暮らすことって、こんなに面白いんだ」と夢を膨らませてくれた一冊。

(心理教育学科3年 猫子)

『さよなら妖精』 米澤穂信／創元推理文庫／360p

雨が降っている街で、傘をささずに呆然と佇んでいる外国の少女がいた。主人公が助けたことにより、主人公と友人たちは奇妙な事件に遭遇していく。その少女が帰国した現在、主人公は少女と過ごした記憶を頼りに彼女の安否を調べようとする。余韻のある一冊。

(経済学科2年 義経)



『頭の中がカユいんだ』 中島らも／集英社文庫／267p

初期作品集である本書はノンフィクションと銘打ってあるだけあり、エッセイ、小説、どちらとも定義し難い奇妙な体験記的内容となっています。コピーライター全盛期を描いている今作は、「中島らも」という人物を知るにはもってこいの必読書です。

(経営メディア学科3年 おじいちゃん)

『入門！論理学』 野矢茂樹／中公新書／250p

論理学、と聞くと専門的で難しく、自分には関係ないもののように思う方もいるだろう。しかし少なくとも論理を道具として扱うならば学生にとって必要な素養であり、学んでおいて損はないだろう。その入門編として本書をおすすめする。

(総合文化学科1年 ししとう@)

『左京区七夕通東入ル』 瀧羽麻子／小学館／285p

舞台は学生の街・京都。おしゃれ大好き文学部の花と数学大好き理学部のたっくんは七夕の夜に出会う。卒論・研究・就職・進学…やらなきゃいけないことが差し迫る大学4年生の二人はどうやって毎日を過ごしていくのだろうか？自分とちがうタイプの人に出会いたくなる恋愛小説。

(総合文化学科3年 はなか)

『プラネタリアムのふたご』 いしいしんじ／講談社文庫／519p

星の見えない小さな村で生まれ、プラネタリアムに捨てられたふたご。ひとは手品師になり、ひとは星の語り部になった。彼らが生まれながらに定められていた役割とは何か。運命の不思議、心の救済を描いた長編小説。大人に読んでもらいたい、大人のための童話。

(芸術学科3年 みつこ)

『美晴さんランナウェイ』 山本幸久／集英社文庫／277p

居候の美晴さん。三十路も手前に独身、バイト暮らしのお気楽生活。自由奔放な彼女に振り回される家族とのホームコメディ。ほのぼのとして読める一冊。こんな女性に憧れる。

(総合文化学科3年 鉄太)

図 書館内の本は、目につくだけの本を集めました。おもに大学に入ってから読んだものが中心です。家からは漫画と、自分が特に影響を受けた本を中心に持ってきました。単純な感想ですが「量の多さ」に改めて驚きます。撮影場所は、2010年までLRPの活動場所として使われていた「カウンター裏」を使わせていただきました。ここで先輩と話したり、本を読んだりご飯を食べたりしたことが、今の学生生活のすべての始まりだったと思います。学外で「LRPみたいなことは和光でしかできないよ」と言われた時はびっくりしました。この活動が今後も残っていきま

現代人間学部 心理教育学科3年 猫子



自 宅が遠いので、本は全て図書館内のものを使用しました。今回の企画、軽い気持ちで参加したのですが、いざやってみると意外と怖かったです。今まで読んできた本は、良くも悪くも自分の性格に影響を与えているわけで、今回改めて積み上げてみて「自分ってこんなにやばい性格だったんだ。」ってことを感じました。しかも先輩に「『わが闘争』を一番上にしたんだろ」とか本音を見透かされたり、高校時代に読んだ本を先輩に「その本、中学生の時読みました」とか言われたり……。とにかくめちゃくちゃ恥ずかしかったんですが、楽しかったです。

総合文化学科2年 到遠



特別企画

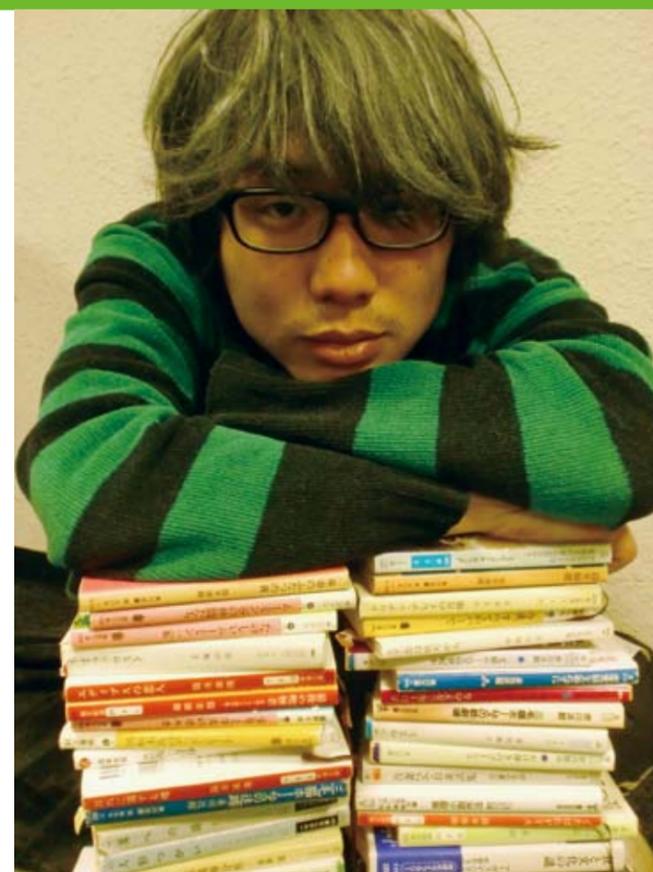
Build My Life Book

メンバーが自分の今まで読んだ本を積み上げてみました。



本 は全て、現在住む家(実家に行けば、もっとあります)からキャリーケースを引きずって持ち込みました。(重かった…)今回私が本企画で持ちこんだ(持ち込めた)本の数は、私の蔵書の中でも氷山の一角に過ぎません。恐らく今私が持っている本を全て積み重ねたら、こんなモノではすまない(某自律式電波塔も越える!)はず…。いつか、また試してみたいなと思いました。ちなみに本の題名に「ドラゴン」や「龍」および「竜」が多いのと私の顔が猫っぽいのは、気のせいです(汗)

総合文化学科3年 薔薇龍



私 の家の本棚には主に日本SF(主にジュブナイル)やエッセイ、ミステリ、西洋文学、ライトノベルなどがあります。そして、本を買うのが好きなので積み本がどんどん貯まっています。今回は、ブルータスやダ・ヴィンチの表紙を意識して本を積みました(積み本だけに)。

総合文化学科3年 原稿中



BIBLIO BATTLE

ビブリオバトル 2012

前年度に引き続き、2012年度もLRPメンバーの猫子さんの主導で数々のビブリオバトルの大会が図書・情報館で行われました。ところで皆さんビブリオバトルをご存知でしょうか？ビブリオバトルとは、本のプレゼンゲームのことで以下のルールで進められます。

- ①「これが好き!」、「これを読んでほしい!」というお気に入りの本を持って集まる。(大会によってはテーマを設けることがあります。たとえば「科学」、「きのこ」)
- ②プレゼンタイム。1人持ち時間5分で本を紹介しします。
- ③質問タイム。2~3分で観覧者との質疑応答を行います。
- ④②と③から「どの本が読みたくなったか」で投票を行い、その大会での「チャンプ本」を決定します。

レジュメやパワーポイントなどのない、アドリブだけ出たところ勝負のスリリングなゲームです。

また、メディアでは取り上げられない自分の知らない魅力的な本を知ることができるのも、この大会の魅力の

一つです。

2012年は「科学」をテーマにした普段通りのバトルや紀伊国屋書店で開かれた「関東Cブロック地区決勝」とその先にある秋葉原での「ビブリオバトル首都決戦2012」の予選会を兼ねた大会に加え、和光大学での学祭やLRPの特別企画「コミックアゴラ」と連動した幅広い大会が行われました。私自身LRPに加入したことをきっかけに数々の大会に参加させていただき、予選会ではチャンプ本に選んでいただきました。(その後の紀伊国屋での地区決戦では惨敗でした…)

観戦者の方からは「その本が好きだって熱意が伝わったんだよ」と言っていました。

プレゼンの技術ももちろんですが、大事なものは「この本が好きだ!」という気持ちです。

皆さんもぜひ次回以降のビブリオバトルに参加し、「本が好きだ!」というエモーションを会場で爆発させてみてください。皆さんの挑戦をお待ちしております。

(総合文化学科3年 薔薇龍)

ビブリオバトル公式サイト
<http://www.bibliobattle.jp/>



LRP profile 2012

所属学科 総合文化学科
 学 年 4年

P.N 御膳

- ◆好きな本(作家)
「てんさらばさら」作:わたりむつこ 絵:ましませつこ
- ◆好きな音楽 ロック
- ◆趣味 散歩とテレビゲーム
- ◆好きな言葉 筆舌に尽くし難い
- ◆自分を動物に例えると 熊
- ◆好きな書店(古本含む) くまざわ書店
- ◆好きな授業(理由)
期末試験だけで単位が出ない授業(一発勝負が苦手)
- ◆行ってみたい場所 雪国

所属学科 総合文化学科
 学 年 3年

P.N 原稿中

- ◆好きな本(作家)
筒井康隆、赤川次郎、みうらじゅん
- ◆好きな音楽
忘れらんねえよ、BABY SHANBULLS
- ◆趣味 絵、宅録
- ◆好きな言葉
人生はオナニーだ。コスってコスって、擦りまくれ。(朔ユキの蔵セルフより)
- ◆自分を動物に例えると 熊
- ◆好きな書店(古本含む) ブックオフ
- ◆好きな授業(理由)
カメラレンズ入門(趣味がそのまま授業になるから)
- ◆行ってみたい場所 台湾

所属学科 総合文化学科
 学 年 3年

P.N 薔薇龍

- ◆好きな本(作家)
主食はファンタジー。その他何でも読み喰らう雑食性。
- ◆好きな音楽
MAN WITH A MISSION、ALI PROJECT
その他J-POPを中心に色々聞きます。最近はクラシックにも興味あり。
- ◆趣味 読書。絵描き。音楽鑑賞。たまに映画。美術館や神社を巡る。小説を描く。満月の夜に外を徘徊する。(そして、心の中で咆哮する)龍、狼、猫、犬、狐のグッズを集める
- ◆好きな言葉 「NEVER FXXKIN' MIND THE RULES (ルールなんて気にするな!)」(MAN WITH A MISSIONの楽曲のタイトル) Trick or Treat! 異類婚姻譚。異形。鬼面仏心。
- ◆自分を動物に例えると
人狼(性格がコロコロ変わる)
- ◆好きな書店(古本含む) 紀伊国屋書店新宿南店。有隣堂ヨドバシアキバ店。八重洲ブックセンター。(以上東京) Book Ace 鮎川店(茨城)
- ◆好きな授業(理由) 坂井先生「叙事詩を味わう」(期末課題の文体や装丁を考えるのが楽しい) 大澤先生「ファンタジーの誕生」、酒寄先生ゼミ「ドイツの文化と歴史」(いずれも創作のインスピレーションになる)
- ◆行ってみたい場所 京都伏見稲荷神社。伊勢神宮。ヨーロッパ。わちふいーど。「大神」のナカツクニ。



所属学科 経営メディア学科
学 年 3年

P.N おじいちゃん

- ◆好きな本(作家) 基本的に雑食ですが、ファンタジー等は好まず、坦々とした中におかしさ(狂気)がある作品を特に好みます。
- ◆好きな音楽 一聴する限りでは目立たないが、凝っていて聴くたびに深みが増すスルメな音楽が好きです。
- ◆趣味 散歩、縁側でばーさんと昼寝
- ◆好きな言葉 「死んだら伝説、狂えばカリスマ、生き残ったらただのおっさん」大槻ケンヂ
- ◆自分を動物に例えると ハクビシン
- ◆好きな書店(古本含む) まんだらけ渋谷店
- ◆好きな授業(理由) 西岡ゼミ(やりがいのある授業だから!)
- ◆行ってみたい場所 ブルーノート東京(高くていけない!)

所属学科 芸術学科
学 年 3年

P.N みつこ

- ◆好きな本 いしいしんじ、長野まゆみ
- ◆好きな音楽 ポーイソプラノ
- ◆趣味 お絵かき(透明水彩)、洋菓子店巡り
- ◆好きな言葉 好きと嫌いは両立するということ
- ◆自分を動物に例えると うちの犬かナメケモノ
- ◆好きな書店(古本含む) 東武ブックス
- ◆好きな授業(理由) キャリアデザイン(話聞いているとすると就職できそうな気がするよね)
- ◆行ってみたい場所 杜王町

所属学科 芸術学科
学 年 3年

P.N 夕陽

- ◆好きな本(作家) 『死神の精度』(伊坂幸太郎)、『風が強く吹いている』(三浦しをん)、『あしたもあそぼうね』(いもとようこ)、『君に届け』(椎名軽穂)、『Dear』(藤原ここあ) …etc
- ◆好きな音楽 高橋直純、藤田麻衣子、いきものがかり、あらゆるキャラソン(ゲーム、アニメ問わず)
- ◆趣味 ゲーム、うさぎと戯れる、イラスト、音楽鑑賞…etc
- ◆好きな言葉 日進月歩、親しき仲にも礼儀あり、縁の下の力持ち
- ◆自分を動物に例えると ひつじ…でしょうか?
- ◆好きな書店(古本含む) TSUTAYA 馬事公苑店、あおい書店町田店、Book1st 渋谷店、文教堂二子玉川店…本屋さんはどこでも長居しちゃいますね。
- ◆好きな授業 製本ワークショップ(先生も素敵で、本の作り方も学べてとても素敵です。)、男性学(女性の私でも納得できる、客観的な田中先生のお話がとても好きです。ボイスレコーダーで講義を録音するほどに(笑))、パドミントン(身体を動かしたくなったらコレです!)
- ◆行ってみたい場所 京都、厳島神社(広島)、平泉(岩手)、那智大社(熊野)…というか、せっかく日本人ですし日本全国行ってみたいです!



所属学科 芸術学科
学 年 3年

P.N ぴぐめん

- ◆好きな本(作家) 竜退治の騎士になる方法(岡田淳) ファンタスマゴリア(たむらしげる) ひとりぼっち?(フィリップヴェヒター)
- ◆好きな音楽 BUMP OF CHICKEN
- ◆趣味 アナログゲーム
- ◆好きな言葉 妥協は死
- ◆自分を動物に例えると ワニ
- ◆好きな書店(古本含む) 百町森書店
- ◆好きな授業(理由) 卓球(抽選が当たりやすい)
- ◆行ってみたい場所 惑星ファンタスマゴリア

所属学科 総合文化学科
学 年 3年

P.N おっぼ

- ◆好きな本(作家) 吉田篤弘、森見登美彦
- ◆好きな音楽 最近 dw ニコルズのグッデイばかり聞いている。
- ◆趣味 散歩と昼寝とおいしいもの食べること
- ◆好きな言葉 雨過天晴。
- ◆自分を動物に例えると とりあえず、夜行性
- ◆好きな書店(古本含む) くまざわ書店橋本店。近所で一番大きいしハードカバーが多い
- ◆好きな授業(理由) 福祉社会学、男性学。社会の「当たり前」を疑う力が養えます。
- ◆行ってみたい場所 北海道。好きな映画の舞台に北海道が多いんです。

所属学科 経済学科
学 年 2年

P.N 義経

- ◆好きな本(作家) 「サヨナライツカ」辻仁成
- ◆好きな音楽 高橋優
- ◆趣味 映画鑑賞
- ◆好きな言葉 なるようになる
- ◆自分を動物に例えると くま
- ◆好きな書店(古本含む) 有隣堂八王子店
- ◆好きな授業(理由) 国際経済学(先生の雑談が面白いから)
- ◆行ってみたい場所 京都

所属学科 心理教育学科
学 年 3年

P.N 猫子

- ◆好きな本(作家) 『海の底』(有川浩)、『パブリカ』(筒井康隆)、『賃貸宇宙』(都築響一)
- ◆好きな音楽 GREEN DAY, LADY GAGA, Mika, 菅野よう子 etc, (洋楽を中心に聞くジャンルが拡大中…)
- ◆趣味 お絵かき、映画鑑賞、猫観察、…とにかく外に出る!
- ◆好きな言葉 「龍になれ、雲自ずから集まる」
- ◆自分を動物に例えると 猫
- ◆好きな書店(古本含む) VILLAGE VANGARD, 高原書店(町田の古本屋です)、地元の本屋
- ◆好きな授業(理由) 衣裳を読む(衣服と人との関係を問いただす、いまでも忘れない刺激的な授業でした。)
- ◆行ってみたい場所 インドとトルコとシンガポールは絶対。あとはもうここに書くときりがない。

所属学科 芸術学科
学 年 2年

P.N 冬夜

- ◆好きな本(作家) 作家では宮沢賢治、長野まゆみ、室山まゆみ、ひかわ博一
- ジャンルだと短編集、雑学、怪談、画集、猫や風景の写真集
- ◆好きな音楽 任天堂とKONAMI(BEMANI関連)のゲーム音楽、cali≠gari、SisBondChit、ALIPROJECT、Asriel。自宅ではよく有線ラジオ(特にNACK5)を流します。
- ◆趣味 ぼんやりすること、猫とごろごろすること、寝ること、ゲーム、妄想、パソコンとイチャイチャ。
- ◆好きな言葉 激安、爆安、赤字覚悟、明日は明日の風が吹く、金は無くとも心は錦。
- ◆自分を物に例えると ふとん(羽毛じゃない方)
- ◆好きな書店(古本含む) 町田の西友の上にある本屋、(潰れた)近所の久美堂。
- ◆好きな授業(理由) ヴィジュアルデザイン(先生を観察していると幸せな気分になる)
- ◆行ってみたい場所 某夢の国にあるというVIP専用ルーム、桃源郷。



所属学科 総合文化学科
学 年 2年

P.N ダニエル

- ◆好きな本(作家) 面白ければ何でも(小並)
- ◆好きな音楽 ポカロ、アニソン、音ゲー関連
- ◆趣味 ニコニコ動画、まとめサイト巡り
- ◆好きな言葉 最高のショーだと思わんかね?(ドヤァ)
- ◆自分を動物に例えると シーラカンス
- ◆好きな書店(古本含む) 丸善、BOOK-OFF
- ◆好きな授業(理由) 男性学、青年心理学(それぞれ田中先生、高坂先生の授業だから面白い。聞いていて非常に考えさせられる。)
- ◆行ってみたい場所 仮想空間(ネット等)

所属学科 総合文化学科
学 年 2年

P.N 致遠

- ◆好きな本(作家) 奥泉光
- ◆好きな音楽 いわゆるアニソン系とか、だと思ふ
- ◆趣味 ごろ寝
- ◆好きな言葉 激水の疾くして石を漂わすに至るものは勢なり(孫子)
- ◆自分を動物に例えると うさぎ(臆病だから)
- ◆好きな書店(古本含む) BOOK-OFF
- ◆好きな授業(理由) ペルシア語とその世界(古代ペルシアからイスラム革命までのイランの歴史を、宗教学者でもある先生が丁寧に教えてくれます)
- ◆行ってみたい場所 国際宇宙ステーション

所属学科 芸術学科
学 年 1年

P.N わさび

- ◆好きな本(作家) ロスト・シンボル 図書館戦争 華鬼
- ◆好きな音楽 ポカロ ゲーソン アニソン
- ◆趣味 音楽&動画鑑賞 ゲーム 寝ること
- ◆好きな言葉 泣けるぜ スラマップギ
- ◆自分を動物に例えると ナマケモノ
- ◆好きな書店(古本含む) あおい書店 ブックスマッキー
- ◆好きな授業(理由) 造形表現の手掛かり 雰囲気がいい。あと自由にできるから。
- ◆行ってみたい場所 画面の向こう側 ヨーロッパ

所属学科 芸術学科
学 年 1年

P.N セーラ

- ◆好きな本(作家) 隣の家の少女、ジャック・ケッチャム
- ◆好きな音楽 宇多田ヒカル、B'z、洋楽、アニソン
- ◆趣味 映画、音楽
- ◆好きな言葉 オワタ
- ◆自分を動物に例えると ウサギと言われた
- ◆好きな書店(古本含む) 近所にある小さな古本屋
- ◆好きな授業(理由) いちいち感想カード出す授業
- ◆行ってみたい場所 中国

所属学科 総合文化学科
学 年 1年

P.N よーき

- ◆好きな本(作家) サスペンス・SF系
- ◆好きな音楽 Green Dayとか
- ◆趣味 漫画漁り
- ◆好きな言葉 為せば成る為さねば成らぬ何事も
- ◆自分を動物に例えると ニワトリ
- ◆好きな書店(古本含む) Book off
- ◆好きな授業(理由) 前期のルポルタージュ入門。ルポ物は読んでいて楽しかった。
- ◆行ってみたい場所 イタリア。次点で宇宙。おじいちゃんになった時孫と行きたい。

所属学科 総合文化学科
学 年 1年

P.N なべ

- ◆好きな本(作家) 東川篤哉、「竜馬がゆく」(司馬遼太郎)
- ◆好きな音楽 ゆず、スキマスイッチ、サザン
- ◆趣味 音楽鑑賞
- ◆好きな言葉 前進
- ◆自分を動物に例えると 象
- ◆好きな書店(古本含む) 長谷川書店(地元)
- ◆好きな授業(理由) 男性学(社会のことに興味があるから)
- ◆行ってみたい場所 スイス、ドイツ、東大阪市



所属学科 総合文化学科
学 年 3年

P.N 鉄太

- ◆好きな本(作家) 太宰治 / 山本幸久 / 道尾秀介
- ◆好きな音楽 YUKI/judy and mary/amazarashi (PVが好きよ)
- ◆趣味 猫を見つける / 動物園めぐり / ひたすら飲み物飲み続ける / 食べ歩き
- ◆好きな言葉 頑張らない
- ◆自分を動物に例えると キリンになりたい九官鳥
- ◆好きな書店(古本含む) アマゾン / 高原書店 / 人の集まらない本屋
- ◆好きな授業(理由) 社会教育計画(何振られても5分間話せるようになる、不思議とコミュニケーション能力が身に付く)
- ◆行ってみたい場所 旭山動物園

所属学科 総合文化学科
学 年 3年

P.N はなか

- ◆好きな本(作家) 宮澤賢治・川上弘美・瀧羽麻子・山田詩子・池田あきこ
- ◆好きな音楽 いきものがかり・和太鼓三宝会
- ◆趣味 大学図書館めぐり・柔道・書道・和太鼓・散歩…和に触れてるのが好き。
- ◆好きな言葉 教壇は一つの舞台である、教師も一人の表現者なのだ。
- ◆自分を動物に例えると ひつじ
- ◆好きな書店(古本含む) 吉祥寺のトムズボックス、かわいい絵本屋さん♪
- ◆好きな授業(理由) 有山裕美子先生の「学校図書館メディアの構成」。先生は現役の学校司書さんで、中学高校の学校図書館のしくみを分かりやすく教えてくれます。学生が毎回「おすすめの一冊」を紹介するのが楽しいです。
- ◆行ってみたい場所 まだ訪れたことのない日本の都道府県。今は倉敷が気になってます…!

所属学科 総合文化学科
学 年 1年

P.N 4410

- ◆好きな本(作家) 好き嫌いはない
- ◆好きな音楽 なし
- ◆趣味 ポケモン
- ◆好きな言葉 晴耕雨読
- ◆自分を動物に例えると 人間
- ◆好きな書店(古本含む) アマゾン
- ◆好きな授業(理由) プロゼミ(多様な分野をリンクさせるのが楽しい)
- ◆行ってみたい場所 なし

所属学科 総合文化学科
学 年 1年

P.N グリズリー

- ◆好きな本(作家) 澁澤龍彦、塩野七生、京極夏彦、ディクソン・カー、ダレン・シャン
- ◆好きな音楽 メタル(SLIPKNOT, ONE OK ROCK, ROB ZOMBIE) ジャズ(BILL EVANS, FABRIZIO BOSSO) クラシック(ヴィヴァルディ、バッハ、教会音楽)
- ◆趣味 読書(ミステリ、妖怪、民俗学)、美術鑑賞(ルノワール、フェルメール、ミケランジェロ、ベルニーニ)
- ◆好きな言葉 マイペース
- ◆自分を動物に例えると 熊
- ◆好きな書店(古本含む) 羊頭書房(神保町)、盛林堂書房(西荻窪)、ジュンク堂池袋本店
- ◆好きな授業(理由) 異界への旅(様々な方の主張が聞けるから)
- ◆行ってみたい場所 ヴェネツィア、シエナ、アオスタ、デルフト

所属学科 総合文化学科
学 年 1年

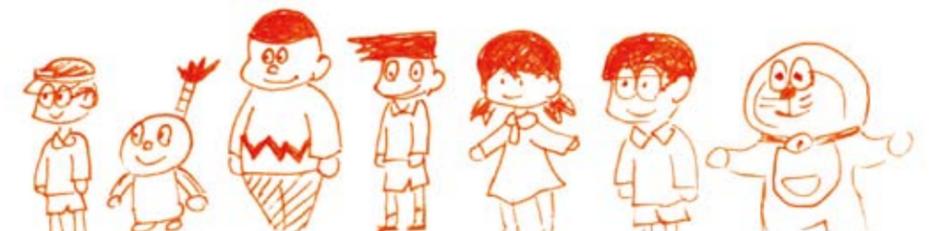
P.N うま

- ◆好きな本(作家) 乙ーさん
- ◆好きな音楽 BUMP OF CHICKEN
- ◆趣味 最近何もない
- ◆好きな言葉 やればできる
- ◆自分を動物に例えると なんだろう?
- ◆好きな書店(古本含む) ナンテンドウ
- ◆好きな授業(理由) ずっとノート書いている授業は眠くならないから好き
- ◆行ってみたい場所 京都!

所属学科 経済学科
学 年 1年

P.N 夢人

- ◆好きな本(作家) 有川 浩
- ◆好きな音楽 J-POP、JAZZ
- ◆趣味 ゲーム、水泳、バドミントン
- ◆好きな言葉 猪突猛進
- ◆自分を動物に例えると 猫
- ◆好きな書店(古本含む) 海老名市の三省堂
- ◆好きな授業(理由) プロゼミ。先生が面白いので
- ◆行ってみたい場所 ウユニ塩湖、サグラダファミリア。



今年を振り返って…



LRPの活動はとて
も有意義です。休
まずもっと活動でき
たらよかったです。
(経営学科3年
おじいちゃん)

部室でのんびりす
るのが一番好きで
した。来年はもう少し頑
張りたいな。
(芸術学科3年
みつこ)

いくつかの企画に参加させ
て貰ったが、特に本棚企画『十本
十色』は完成した時の見栄えがよく達成
感があった。
また、学年学科を隔てず人と関係を持てた
という点で貴重な体験だった。
配架及び書架整頓のアルバイトで図書館に配
置された本の位置を大づかみにだが把握す
るまでに成れたのは、今後の学生生活で
役立つだろう。
(総合文化学科1年
ししとう@)

今年度は初めて自
分がやりたい本棚企画を
提案することができました。
みなさんの協力を得て、素敵な
本棚にすることができたので嬉し
いです。ありがとうございました！
(芸術学科3年 夕陽)

今年度始めてLRPに加
入し「自分でできるだろうか？」
と不安を抱えながら活動してき
たが、周りからの助けもあり忙し
いながらも充実した活動が行え
たと思う。
(総合文化学科3年
薔薇龍)

初めてでよくわ
からないこともありま
したが入って良かったで
す。二年生からはもっと色
んな事に挑戦したい。
(芸術学科1年 星)

この部室で
過ごせるのもあと1年
ちょっと。あっという間だ
なあ…と寂しくなる。でも、それ
だけ充実した時間を過ごさせてい
るのだなあ…とも感じる。ラスト一
年(の予定)。みんなでワイワイ
楽しくやりたいね。
(総合文化学科3年
おっぼ)

ほとんど働かない
一年を過ごしましたが、
おつかれさまでした。
(総合文化4年 御膳)



あまり積極的に発言
などが出来なかったの
で来年からはそれを改善して
ピシッと！バシッと！取り組
んでいきたいです。
(芸術学科1年 わさび)

あまり本棚企画にかかわれず申
し訳ないです。今年はビブリオバトル
を続けていたことで、さらに新しいつな
がりできた躍進の年だったと思います。
新しく参加してくれた人もいてとてもうれ
しいです。本と人のダイナミックなかかわり
を体感できる場所として、本当にLRPがあ
ることに感謝です。図書館スタッフの皆
様、いつもありがとうございます。
(心理教育学科3年 猫子)



自分が好きなこと
ばかりやってました。
いろんなところにいるけれ
ど、やっぱり図書館が大好き
です。
(総合文化学科3年
はなか)

大学生活、LRPと
初めての新しいこと尽くし
の一年でしたが、特に国会図書館
見学は印象に残るものでした。今まで
そういった大規模図書館を見学したこ
とがなかったので、感動すると同時に新鮮
さを感じました。あまり積極的にLRP
に参加できていないのですが、これか
らよろしくお願いします。
(経済学科1年 夢人)

1年生の時は、
一冊も読まなかった本
を、3年生では3冊くらい
読むまでになりました。すばら
しいぞ俺！！色々とおもしろい
ものに出会えた年でした。
(芸術学科3年 びぐめん)

来年こそは電車
内で本を読めるよう
になりたいです。今年は虚
空を見つめることしかでき
ませんでした。それいけ！
(総合文化学科1年
うま)

今年も個人的には目
立った活動はしませんが、去年よりは出来た
かと思います。ポスターを
1枚描いただけですけど。
(芸術学科2年 冬夜)

今年も変わらず
平和に過ごせました。
たくさん部室で寝れて
満足です。
(総合文化学科3年
鉄太さん)

おっす。LRPは…文
を書くのは好きなので
…まあ楽しいっす。
(総合文化3年 原稿中)

LRPに入って
二年目ですが、企画を
一回も立てていないので、
来年こそは提案したいと
思います。
(経済学科2年 義経)

後期、企画等あまり参
加できず迷惑かけてすみま
せん…。この一年は本もあ
まり読めなかったの、来年じ
っくり読めたらな、と思います。
(総合文化学科1年
よーき)

また、新しいメンバーが
増えて楽しい年だったと思う。
今年会議の進行役を任せられ、非
常に緊張したりしたけど良い経験
だった。今後活かせるかは怪しい
けど(←おい)LRPにいれて楽
しかった。
(総合文化学科2年
ダニエル)

夏休みの国会図書館
見学の時、日程が夏コミと
被っていたにも関わらず、新
入生が全員来てくれたので、「今
年はいける」と思いました。
(総合文化学科2年 致遠)

10月末に入部
しましたが、学祭のビ
ブリオバトルやコミック
アゴラなど内容の濃い一年
でした。
(総合文化学科1年
グリズリー)

